「良き教え手」であれ
フィンランドの教育に学ぶ

サービス＆テスティングセンター長　千歩　孝

経済協力開発機構（ＯＥＣＤ）が世界41カ国・地域の15歳の生徒を対象に実施している国際的な学習到達度調査の結果から、近年日本の中学生の学力が急降下しているのがよくわかる。

2006年	科学的リテラシー	数学的リテラシー	総合読解力
1	フィンランド	台湾	韓国
2	香港	フィンランド	フィンランド
3	カナダ	香港	香港
	（日本6位）	（日本10位）	（日本15位）

2003年	科学的リテラシー	数学的リテラシー	総合読解力
1	フィンランド	香港	フィンランド
2	日本	フィンランド	韓国
3	香港	韓国	カナダ
		（日本6位）	（日本14位）

2000年	科学的リテラシー	数学的リテラシー	総合読解力
1	韓国	日本	フィンランド
2	日本	韓国	カナダ
3	フィンランド	ニュージーランド	ニュージーランド
			（日本8位）

OECD 生徒の学習到達度調査

一方、アジアの仲間である韓国・香港はしっかり上位を守っているのと、遠い北欧のフィンランドが2006年度は全てのカテゴリーにおいて上位に位置している。「どうしてフィンランドなの？」と意外に思ったので、「フィンランド豊かさのメソッド：堀内都喜子」という本で調べてみた。

フィンランドは、日本から九州を除いたくらいの国土しかなく、人口も約5百万人と北海道と同程度の小国である。ところが、教育もさることながら世界経済フォーラム（ＷＥＦ）による国際競争力ランキングで、2001-2004年まで4年連続で堂々の１位なのである。我々がウォッチしなくてはならないのは、「ＢＲＩＣｓ」だけではなさそうだ。

フィンランドの教育分野で功績の高い「ユヴァスキュラ大学教育研究所」によると、近年教育の成功のカギとして、①質の高い教師、②偏差値編成や能力別クラスがない、③少人数制、④地域格差があまりない、などを挙げている。この中でも、フィンランドの「教師の質の高さ」は、どの教育研究者、教師たちに聞いても必ず一番に返ってくる答えのようだ。フィンランドの教師はほとんどが修士号をもっているが、正規の教師になるためには、教師にふさわしいかどうかの適正検査など厳しい審査がある。この難しい試験にパスした優秀な先生たちが、「できない子（落ちこぼれ）は作らない」との目標を掲げ、良く工夫された質の高い教育を提供しているところにフィンランドの教育水準の高さの秘訣が隠されているようだ。

良き教師が良い子供たちを作るのと同様に、「良き教え手」がたくさんいる会社は良い社員がたくさん育っているのではと思う。良い指導者が正しく教えることにより、社員は自分の成長を実感でき、より一層前向きに取り組むようになる。さらに、会社にこのような文化が根付くと、継続的に良い社員が育つ。

私たちも、管理者としてまた先輩として、いつでも「良き教え手」でありたいと思う。「良き教え手」がいなければ人材は育たないし、良い人材のいない会社から「イノベーション」は起こらない。当社の財産は「人材」しかないのだから。

（参考文献）堀内都喜子著：「フィンランド豊かさのメソッド」　集英社新書(2008)

編集後記

今年4月より、新たに着手するSI案件などのソフトウェアの受託開発に工事進行基準を、原則適用することが義務付けられます。

工事進行基準は、プロジェクトの進捗状況に合わせて収益および費用を計上する会計基準で、営業担当者や技術者の業務にも影響があって大変さだけが目立っていますが、これをきっかけに曖昧な契約や要件定義をなくし、お客様との責任範囲や作業分担を明確にすることによって、プロジェクト管理精度の向上が期待できます。

会計基準の変更の本来の目的を理解して、プロジェクトマネジメントの強化に繋げていくことこそが重要な取り組みと言えるでしょう。

今号はSIソリューションの特集として、最近の急激な経済の変化の中、お客様にとって最適なソリューションの提供に向けた取り組みや、お客様事例について紹介いたしました。今後もお客様のお役に立つさまざまなソリューションを提供してまいります。

本誌の内容につきまして、皆様からご意見ご指摘などいただけましたら幸いです。

Wave　Vol.13　　2009年1月5日発行

発　行：東芝情報システム株式会社
〒210-8540 川崎市川崎区日進町１番地53（興和川崎東口ビル）
連絡先：技術品質企画部 TEL 044-200-5140 FAX 044-200-5298 E-mail wave@tjsys.co.jp URL http://www.tjsys.co.jp/
発行人：大西　裕
編　集：東芝情報システム株式会社 Wave編集委員会